

福島医発第 557 号 (総)

平成 19 年 6 月 29 日



各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 横 倉 義 武

(公印省略)

「朝日社会福祉賞」受賞候補者の推薦について

標記につきまして、朝日新聞社から推薦方依頼がありました。

本賞は、社会や福祉に献身し、功績の著しい個人または団体に贈られるものです。障害者福祉、地域精神医療、高齢者介護、末期医療などとともに、難民・災害・社会的弱者への支援や社会的課題への取り組みといった社会貢献も対象となっております。過去の受賞者一覧を別紙のとおりお送り致しますので、ご参照下さい。

つきましては、該当される方がありましたら候補者推薦書により、8 月 17 日 (金) までにご推薦いただきますようお願い申し上げます。

なお、

1. 推薦される場合は、あらかじめ電話等でご連絡願います。
2. 該当者がいない場合もその旨ご連絡下さい。
3. 下記の URL より、Microsoft Word 形式の推薦票をダウンロードできますので、ご利用下さい。

ダウンロード URL

<http://www.asahi.com/shimbun/award/fukushi/suisen>

パスワード

WELFAREPRIZE (半角大文字です)



2007年度

朝日社会福祉賞推薦票

--

業績の題目	
-------	--

ふりがな				所属・職名など
候補者				
略歴	※以下、ご存知であればご記入下さい			
連絡先	住所			
	TEL		FAX	
生年月日	19	年	月	日生 () 歳

ふりがな				所属・職名など
推薦者				
自宅	住所	〒		
	TEL		FAX	
	E-mail			
勤務先	住所	〒		
	TEL		FAX	
	E-mail			

※ご記入いただいた個人情報は、朝日社会福祉賞の選考および表彰に伴うご連絡以外には使用いたしません。

参考資料（ 業績についての参考資料名をご記入ください。）
資料を添付していただく必要はありません。

推薦理由（簡単でも結構です）

朝日社会福祉賞

1975年度(昭和50年度)～

1975年度(昭和50年度)

大西 良 慶 多年にわたり老人福祉に貢献した功績
菅 修 精神薄弱者の治療教育に尽くした功績
北浦 貞 夫・北浦 雅 子 重症心身障害者対策の推進に尽くした功績

北海道家庭学校 六十余年にわたり少年の教護事業に尽くした功績

1976年度(昭和51年度)

草野 熊 吉 重症心身障害児の療育に尽くした功績
松島 正 儀 養護施設児童の福祉向上に尽くした功績

1977年度(昭和52年度)

日本キリスト教海外医療協力会(野村実会長)

井 深 八 重 東南アジアなどに対する民間医療協力活動
半世紀以上にわたり難者の福祉向上に尽くした功績

1978年度(昭和53年度)

松坂 義 正 原爆被爆者の救護と医療、研究、援護に尽くした功績
天児 民 和 リハビリテーション医学の発展と身障者の社会復帰に貢
献した功績

登丸 福 寿 多年にわたり精神薄弱者の福祉に貢献した功績

1979年度(昭和54年度)

深津 文 雄 転落婦人の保護と更生活動に貢献した功績
池田 太 郎 精神薄弱者の職業指導、社会復帰など、福祉の向上に貢
献した功績

上原 信 雄 沖縄における救済運動と、学徒援護活動に尽くした功績

1980年度(昭和55年度)

本間 昭 雄 盲人とくに盲老人の福祉向上に貢献した功績
中村 健 二 精神薄弱児(者)の訓練指導方法の確立と実践活動に尽く
した功績

堤 勝 彦 長年にわたり独力で精神薄弱者の自立に尽くした功績
昇地 三 郎 障害児の教育と福祉の研究、実践に尽くした功績

1981年度(昭和56年度)

小杉 長 平 精神薄弱児のための生活学習法を確立した功績

金城 妙 子 保健活動で沖縄県民の健康福祉に尽くした功績

1982年度(昭和57年度)

仲野 好 雄 長年にわたり心身障害児者の福祉向上に寄与した功績
江草 安 彦 重症心身障害者の療育と福祉に尽くした功績
木口 マ ツ 離島で恵まれない子供たちの養育活動を続けた功績

1983年度(昭和58年度)

渡 辺 実 精神薄弱者福祉の実践と教育に尽くした功績
中 村 裕 身体障害者福祉に貢献した功績

1984年度(昭和59年度)

重原 勇 治 喉頭摘出者の社会復帰に尽くした功績
岡崎 英 彦 重症心身障害児の療育と福祉に尽くした功績

1985年度(昭和60年度)

島 田 広 子 リウマチの啓蒙活動と患者教育および福祉の向上に尽く
した功績
林 富美子 半世紀、癩者と寝たきり老人に尽くす

1986年度(昭和61年度)

野村 実 結核回復者や身障者らの社会復帰と授産事業に尽くした
功績
本田 義 信 在宅福祉サービスを創始して実践した功績

1987年度(昭和62年度)

田中 皎 一 聴覚障害者の福祉事業に多年にわたり尽くした功績
川原 啓 美 アジアの人々のため草の根医療の指導者を育成した功績
中山 和 子 心身障害児の療育に尽くし福祉を推進した功績

1988年度

阿部 志 郎 長年にわたる社会福祉実践活動と福祉理論の功績
山崎 勲・山崎 祥 子 地域における重症心身障害児(者)福祉対策の推進に尽く
した功績

犀川 一 夫 沖縄のハンセン病治療、予防、啓発に尽くした功績

1989年度

日本国際ボランティアセンター(JVC)
第三世界の難民救援と住民の自立支援に尽くした功績

玉井義臣 交通遺児を救済して社会福祉に貢献
岡島はなを 多年にわたる精神障害者の家族会活動と社会復帰に尽くした功績

1990年度
松井新二郎 盲人の新しい職域開拓に尽くした功績
山口 昇 寝たきり老人を減らす取り組みと、その成果

1991年度
秋山 聡 平 多年にわたり自殺防止を目的とするいのちの電話に尽くした功績
相馬 信 夫 障害者および国内、国外の抑圧・疎外された者に対する社会福祉活動の実践

1992年度
山田 富 也 難病患者の立場で自ら新しい生き方を示し、社会の理解を広めた功績
澤村 誠 志 地域に密着したりハビリテーションの推進

1993年度
渡辺トミ・マルガリーダ ブラジルにおける半世紀にわたる社会福祉の実践
高柳 泰 世 色覚異常者の社会生活改善を推進

1994年度
花田 春 兆 障害を克服し、障害者問題の理解と啓発に尽くした功績
大谷 貴 子 「東海骨髓バンク」創設と、公的骨髓バンク設立運動およびその普及活動

1995年度
山城 永 盛 授産事業を中心とした身体障害者福祉に尽くした功績
下 菌 彦 二 創意工夫した点字参考書や点字絵本を長年にわたり作成提供した功績

1996年度
季羽 倭文子 訪問看護と終末期ケア普及に寄与した功績
光野 有 次 心身障害者の生活用具づくりと普及に貢献した功績

1997年度
中 村 哲 パキスタン、アフガニスタン国境地域でのハンセン病治

中 村 八重子 療、難民医療に尽力した功績
羽 田 澄 子 多年にわたり、地域に根差した児童福祉に尽力した功績
記録映画づくりを通して、高齢者福祉への意識向上に寄与した功績

1998年度
李 仁 夏 在日外国人のためのさまざまな人権活動と、地域に根ざした福祉活動での功績
柏 木 哲 夫 ホスピス運動の先駆者として、末期がん患者のターミナルケアに尽力した功績
牧 口 一 二 講演や市民運動などを通じて障害者の理解、社会進出に尽力した功績

1999年度
谷 中 輝 雄 多年にわたり、地域に根差した精神障害者の生活支援に尽くした功績
呆け老人をかかえる家族の会（代表・高見国生）
痴ほう症の社会的な認知に取り組み、高齢者福祉の向上に寄与した功績

2000年度
伊 東 雋 祐 聴覚障害者の福祉向上と手話の普及、手話通訳者の育成に尽くした功績
子どもの虐待防止ネットワーク・あいち（CAPNA）
民間のボランティア組織として児童虐待防止に取り組んできた功績

2001年度
黒 柳 徹 子 ユニセフ親善大使として活躍、「トット基金」を通じてろう者の社会参加も支援した功績
全国ハンセン病療養所入所者協議会
ハンセン病に対する偏見、差別と闘い、人間の尊厳を広く社会に示した功績

2002年度
日野原 重 明 90歳を超えて、高齢者の新しい福祉文化の形成に尽くしている功績
小 林 信 秋 難病の子どもたちと、その家族同士をつなげ、生活の質向上に取り組んできた功績
女性の家HELP 暴力などで人権を侵害された、外国籍を含む女性と子

どもの避難所として活動した功績

2003年度

北川 泰弘 日本ので雪廃絶運動の中心的役割を担ってきた功績
市川 禮子 介護が必要な高齢者の人権を守るケアを長年続けてきた功績

あしなが育英会 あらゆる遺児のための育英制度を創設し、心のケア活動を世界規模で推進

2004年度

黒田 裕子 阪神大震災で被災した高齢者、障害者の生活支援に取り組んだ功績

佐々木 正美 自閉症の人と家族を支援する療育方法の実践と普及に努めてきた功績

シャプラーニール 市民による海外協力の会

南アジアの貧困地帯で住民の自立支援を長年続けてきた功績

2005年度

岩田 美津子 点訳絵本の製作と貸し出しに努めた功績

高齢社会をよくする女性の会

心豊かな高齢社会の実現に女性の視点で長年取り組んできた功績

2006年度

門屋 充郎 北海道・帯広十勝地域での精神障害者の社会復帰支援を推進した功績

斎藤友紀雄 長年にわたり自殺予防のボランティア「いのちの電話」の発展に尽力した功績

松本 茂 筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者として社会啓発に尽くした功績

朝日賞（体育賞部門）

1929年～1974年度（昭和4年～49年度）

1929年度（昭和4年度）

入江 稔 夫 二百、四百メートル背泳に世界公認記録

1930年度（昭和5年度）

鶴田 義行 二百メートル平泳に公認世界記録

1931年度（昭和6年度）

織田 幹雄 三段跳に世界新記録15メートル58

南部 忠平 走幅跳に世界新記録7メートル98

牧野 正蔵 水泳八百メートル自由形に世界新記録10分16秒6

1932年度（昭和7年度）

宮崎 康二・遊佐 正憲・豊田 久吉・横山 隆志 第10回国際オリンピック大会水泳八百メートルリレーに世界公認記録

西 竹一 第10回国際オリンピック大会馬術競技に優勝

1933年度（昭和8年度）

北村 久寿雄 昭和8年8月13日明治神宮競泳場で一千メートル自由形に世界公認記録

前畑 秀子 昭和8年9月30日明治神宮競泳場で二百メートル平泳及び同年10月1日同所で四百メートル平泳、五百メートル平泳に世界公認記録

清川 正二 同四百メートル背泳に世界公認記録

1934年度（昭和9年度）

根上 博 昭和9年8月12日明治神宮競泳場で千五百メートル自由形中千メートルの世界新記録

大島 謙吉 昭和9年9月16日甲子園競技場で三段跳に世界新記録

1935年度（昭和10年度）

遊佐 正憲・石原 田・愿・牧野 正蔵・根上 博 昭和10年8月19日明治神宮プールで八百メートルリレーに世界新記録

1936年度（昭和11年度）

田島 直人 昭和11年8月6日第11回国際オリンピック大会（ベルリン）三段跳に世界新記録

孫 基禎 同マラソンに最優秀記録

遊佐 正憲・杉浦 重雄・田口 正治・新井 茂雄 同八百メートルリレー競泳に世界新記録

1937年度（昭和12年度）

ナシ

1938年度（昭和13年度）

天野 富勝 昭和13年8月10日第14回関東水上選手権大会千五百メートル及び千メートル自由形に世界新記録